放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：　2024年　5月　20日　　事業所名　ピース八尾支店

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	20%	80%	0%	二つの部屋をドアで仕切り、各部屋で集中しやすいように配慮しています。	遊び時間等ではSSTを絡め、部屋を走らないルールを児童に徹底しています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	100%	0%	床は出来る限り段差を無くしています。	・部屋の境目にあった段差をスロープにしている ・洗面所に踏み台を設置している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	80%	20%	0%	朝礼時に前日の振り返りを行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	80%	20%	0%	結果を職員で共有し改善に努めています。	・職員会議による討議後、１年を通じて改善を行う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%	ホームページにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	40%	40%	20%	連携機関からのアドバイスを基に業務改善を行っています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	40%	60%	0%	研修を受けるためのシフト調整をし、研修費は全額法人が出しています。	スタッフの職務経験に合った研修内容を提案し受講してもらっています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	担当者会議や保護者面談を行い支援内容を検討しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	80%	20%	0%	各スタッフで活動を分担し、それぞれの立案を朝礼等で相談しながら作っています。	系統立てた活動やマンネリ化しないように考えた活動など、色々織り交ぜて考えております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	スタッフからの立案だけでなく、保護者様からのご要望も取り入れるなどもしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	40%	60%	0%	机上課題は日々の児童の成長に合わせ検討/提供しています。	プリント課題だけでなく、ビジョントレーニングや手先の訓練になるような机上課題も思考錯誤しながら作っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	個別・集団のどちらか一方に偏らないように作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	20%	0%	1週間前の朝礼と当日の朝礼時に確認等をしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	80%	20%	0%	終了後は難しい時もあるが、次の日の朝礼で必ず行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%	業務日誌等を毎日書いています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	100%	0%	0%		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	0%		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	60%	40%	0%	送迎時間の突然の変更等には必ず学校や園に連絡しています。	送迎時に学校の先生方ともっと細かい話ができるようにしていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				今現在は該当者なしだが、受け入れた際には医療機関等と連携していきます。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	20%	80%	0%	在園時には担当者会議等で情報共有しています。	卒園後、必要時には電話での情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	100%	0%	該当者無し。	まだ該当者は居ないが、出来る様に記録した書類等の保管はきちんと行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	20%	80%	0%	担当者会議などで連携している時に助言を受ける機会を持つようにしています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	80%	20%	コロナ等で難しい状態ではありましたが、公園活動の日などはそこに居る他児と遊ぶようスタッフが介入しています。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	40%	60%	0%	児発管だけではありますが、参加させていただいております。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%	日々の連絡帳に保護者様から最近のご自宅での様子を書いていただくことで、児童の状況や課題の共通理解を持っています。送迎時にそれらについて話をさせていただくことで家族支援を行っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	40%	60%	0%		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	80%	20%	0%	年1回の保護者会を開催しております。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%		
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	0%	100%	ご家族様と、個人情報の保護に関してしっかり協議しながら考えていきたいと思います。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	0%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	0%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	20%	80%	0%	保護者様からの情報を基におやつ等の対応をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%	日々の朝礼で随時話合い、事例ファイルを作っています。	